

埼玉医科大学保健医療学部

アドミッション・ポリシー

本学部の教育課程に基づいて学習を重ね、定められた期間内に卒業要件を満たして、ディプロマ・ポリシーに掲げた望ましい医療人（卒業生）として巣立つことができる人材として、一定以上の学力を備えていることが必要条件となりますが、これに加えて本学部では下記のアドミッション・ポリシーを提示しています。

また、各学科の個別性を考慮に入れ、より具体的な各学科のアドミッション・ポリシーを別に示します。

- ①相手の立場に立ち、協調性をもって行動できる人
- ②考えをまとめて言葉に表す能力を持つ人
- ③物事を吟味し考察する能力を持つ人
- ④医療や健康問題への積極的な関心を持つ人

1) 看護学科のアドミッション・ポリシー

看護師になるためには、「病むことのつらさ」をともに実感できる力を養うとともに、ひとりひとりの人に心からの関心を寄せて、人と関わることを理解していくことが大切です。また、人間の身体や心について確かな知識を身につけていこうという意志を持ち、病む人に安心していただける心と技をみがく努力が必要です。

高校では本をたくさん読み、人や人の心について考え、国語・英語などで語学力や論理的思考力をみがき、理科系の科目（生物、化学、物理、数学）をしっかりと勉強し、大学で学ぶ医学知識や看護学の学習を受け入れる基盤をつくっておくことが大切です。

2) 健康医療科学科のアドミッション・ポリシー

健康医療科学科では、国民の健康維持に対する関心や医療への期待に応えるために、保健と医療の分野で貢献できる専門的な高度の知識と技術を兼ね備えた人材の育成を目指しています。そのため、病気や健康に関する真実を追究する科学的な思考と技術、そして研究への実践的な関心の両方を有する人材を広く求めます。

具体的には、高校の学習の中で、思考力を養う語学（国語や英語）、科学の基礎になる数学と理科（生物、化学、物理）などに十分関心をもち、しっかりと勉強しておくことを望んでいます。

3) 医用生体工学科のアドミッション・ポリシー

医用生体工学は、現代医療を支えるために生まれた医学と工学が連携する新しい学問領域です。中でも医療に直結した臨床工学という分野があり、その知識と技術を医療に応用しているのが臨床工学技士です。本学科は、医療機器の技術に精通し、高い問題解決能力を持ち、チーム医療の一員として優れたコミュニケーション能力を持った臨床工学技士の育成に力を入れています。

このような領域を学ぶために、物理、化学、生物、数学等の理科系科目に広く興味を持つと共に、人間関係の構築と自己研鑽に努める方の入学を待ち望んでいます。

4) 理学療法学科のアドミッション・ポリシー

理学療法学科では、科学的な知識と技術に裏付けられた理学療法を行うことで社会に貢献できる理学療法士の育成を目指しています。そのため、高等学校では大学での学習の基礎となる科目に関心を持ち、学習しておくことが大切です。

具体的には、大学で学ぶ人体の構造と機能、運動学、理学療法学などの基礎として、数学、物理、化学、生物等の理系科目と、豊かな表現力と国際的な情報収集力を高めるために、国語、英語を勉強しておくことが望まれます。